明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）　日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年四月廿七日（火曜日）　第九十三號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

日韓の經濟的干繫（三）

終りに邦人の韓國移殖に就て一言する所あらん、聞く伊藤統監は農民の移殖を喜ばれざるものゝ如く、東洋拓殖會社に對しても韓國に就ては干渉する所ありと、思ふに韓國の農業は風土の自然に從ひて今日の狀態に至りたるものにて、韓國に經驗なき邦人より之を見れば極めて不完全にして又實際然る點もあるべしと雖、大體に於て天然に支配せらるゝ農業の事とて多年の經驗より得來る耕作法なるは實地に從事したるものゝ首肯する所なり、故に余輩は農民を徐々に移殖するの方針を採り、一面韓國の耕作法に習熟すると共に一面には資力及び機械力を應用して從來耕作法の缺陷を補ふの手段を採るあらば庶幾くば同國農業の發展を期するとを得可しと信ず、而て農業興行人口增殖、村落繁盛するに至る時は商工業は隨て發達す可く韓國の經濟界は大に隆昌に赴く可し然れども茲に注意すべきは現今の關稅制度にして何時までも變更せられざる限りは韓國農業の隆興は甚だ期し難しと爲す、何となれば同國產物の大部分は我邦に輸入せらるゝものなるに現今二重の關稅を課せらるればなり、果して斯の如くば如何に東拓會社が移住農民を保護すと雖も之は單に保護に衣食する遊惰の農民を增すのみにして眞に農業の發達を望む可からざるにあらずや、而に日韓關稅同盟は日韓間諸問題の楔子にして日韓の政治的干繫及び經濟的干繫を渾然融合せしむると否とは之を決行すると否とに依りて岐る可し（完東京經濟雜誌）

●桃花李花

みどり

櫻花謝して新翠樹木に滴り、墨田堤のあたり閑古鳥の啼く頃は韓山の春正に酣なる時に候、由來韓國は櫻花に乏しく從つて空天紫雲搖ぎ、紅霞棚曳く底の美觀は何れに赴きても見る能はず候も桃花の濃艷なると李花の淸楚なる風情とは又格別の眺め有之候今や韓山到る處桃李咲き亂れ嬋妍さして人を待つものゝ如く候、試みに瓢を提げ家人を携へて一日の淸遊を恣にせんか心氣長閑に融然として十年の苦も一時に忘るゝ如き感有之候、蓋し四季中の好季節にして併せて人心をして長閑ならしむる時季に候、殿寒と戰ひ、酷暑と鬪ふべき在留邦人は宜しく此の好季節を利用して大に樂み大に遊び大に飮み大に喰ふべしとは些と醬油風の文句なれど少なくとも悄々として一室に蟄居する如きは絕對的不賛成に候

春の長閑なるに就て審想せしは東拓會社重役連の心の奥に候、タトへ八並に一日の淸遊を試みたればとて斯く昨今の如く不評判の降り頻しきに於ては野邊に出で花に對すさはいへ何等の感興も快樂も無之かるべしこと被察候、心愛に非ざれば見れども見わず的にて普通ならば一室に閉ち籠りて思案に暮るべき筈に候、それかあらぬか近頃或る一人の東拓社員の嘆息なりといふを聞くに「重役連の心中はナカ〜に苦しからん春は酣なれど花見沙汰でもあるまじき万骨（下級社員間に於ける流行語）心中敢て病ふ所なきも重役連の義利合上ノコ〜野外に出づるを憚かる」と之れ固より一場の戲言ならんも味ひ來れば確かに半面の眞理を道破いたし居り候

されど他は八、吾れは吾れ余輩は此の天より與へられたる自然の好季節に際して共に俱に精神上の歡樂を盡されんことを祈つて已まざるものに候

佐倉宗吾（六十四）

眞龍齋貞水講演

是から致して雅樂頭は六名の者に對し、宜う手當をせよと云ふ御言葉がありて、ズッと御立ちに成りましたから、六名の者は、泣きながら御家來の御案內に從ひ、御手當を蒙りました、そこで雅樂頭樣は、其翌日御登城あそばされ、御坊主を御召になりました、御坊主には、表御坊主、奥御坊主、御數寄屋坊主などがありまして、それ〜御役人方の御手許の御用を勤めました、當今の諸官省で謂へば給使、宮中ならば使部と謂ふやうな者でございます、雅樂頭樣は今その御坊主を召されまして　雅「コレよ坊　坊「ハ、ハアー　雅「上野介退出の時には、予が許へ一寸立寄るやう、申し聞けね　坊「ハアーッ、御坊主は畏りまして愈よ上野介が御退出と云ふ時に　坊「堀田樣へ申し上げます　上「何事ぢや　坊「唯今御大老樣が、何事か御相ひ遊ばしたいとの事にござる　上「左樣か」御側御用筆頭の勢ひ、堂々と上野介は、御大老樣の御控への席へ來り、兩手を支へ　上「是は〜唯今何か御用これ有る趣に承り、罷り出ましてござる　雅「上野介、公用ではない、私用ぢや、若しうない近かう　上「ハ、ハッ何事かと上野介殿御進みになると　雅「さて上野、御身の父、加賀守紀の正盛殿は、三代將軍御他界の時は殉死追腹をされたるに由り、其偉功を以て御身は、今日御側御用筆頭たること、誠に以て結構至極、然れども主君の御用多きが故に國表へ交代なさらぬに依て、國の政治の屆かざる所、よう御存知なきもの〜と見江今日予が登城の折柄、佐倉城附六萬石の領分の百姓共總代名主六名、予に俄籠訴に及び、容易ならざる所の願書を差出したが、此事未だ若に聞へ參る時は、それこそ堀田家の一大事、捨て措いては如何なる椿事を激起さんも計られぬに依り、內々御意見に及ぶ次第である、遂に國表にて、政治を執り居る家來、御聞べあつて、領分の百姓に安堵を與へるやう、總代六名の願ひを聽屆けあつて然る可く存ずる、甚だ以て先代の政治とは異なりと謂はれては、聞へも宜しからざるやう考へるが、如何ぢや其儀は」暫く下俯向いて在られたる上野殿顏を上げたる時は滿面異朱の如く、兩眼血走り髮髮ざわ〜と逆立ち　上「惡憎き奴は其六名の名主共でござる[illegible]を致し、我家に瑕瑾つけんとの所存と相見えまする既に先頃も、我領分[illegible]衞と云ふ者が、地方役人を[illegible]し水戶樣御領分常陸の潮來へ逃れたるに依り、臣下の者之を掛合ふと雖も終に水戶樣の御思召を以て萬兵衞は潮來の內に存へて居ります、是等の事は皆な領分百姓共が、上を蔑ろに致すより起りし事、それのみならず百姓共に於ては、先々代土井家の政治を譽め又父加賀守の政治を慕ひ、この上野の政治は何か屆かざるやう、口々に罵り居ります。然るに斯る不屆の輩は一向御糺しもなく、唯上野介が御役に立たざるやう申し聞でございますれば、此方に於ては、十八萬石は御主君へ御返納仕り、是より紀州高野へ登山いたし、[illegible]、其代り、此儀御聽屆け願ひ上げまする、十八萬石御返納仕る前に、六名の庄屋共を御渡しを願ひたい、思ふ存分、[illegible]の嚴刑に行ひ、以來百姓共が、上役人を蔑ろに致さぬやう懲しめ、而して後、高野へ登山いたすでござらう　此時酒井雅樂頭は上野介の顏を熟と御覽遊ばし　雅「上野、今の一言は、本心にて申せしか　上「如何にも本心でござる、狂氣亂心には及び申さぬ　雅「ナニ、本心ぢや、斯くや、よつく其方は承はれ、汝の父加賀守正盛は、小身より致して、十八萬石の御取立に相成りたる程にて、其政治振、誠に仁道に適ひ、此雅樂なども、政治の師匠と迄思ひ居る位なり、去れば其父が、三代公の御供なして、冥途に趣きたる、其忠節を思召され、汝は御側御用筆頭と云ふ、大役仰せ付けられたるにあらずや、其父の勳功に依つて、賜はりたる十八萬石を、汝これを返納するとは[illegible]なるか、主君より頂く[illegible]を返上すれば、如何なる事を作しても宜しいとの所存なるか、甚だ以て心得違ゐ、左樣な事にて、相濟む譯のものでない、其方が若氣の至りにて申し損じたることあらば、一應は赦し取らする、能く考へて見よ

京城新報

韓國增富論

伊藤統監は觀光團の東京に立ちたる者を招き懇諭して曰く『韓國人は政權爭奪にのみ狂奔し富の生產に頓着せず國步の艱難亦茲に因す云々』と伊藤公の言說として近頃最も其意を得たるもの也、韓國の情弊は全く富の生產を輕んじ、兩班なる階級の多くが唯夫れ政權爭奪に憧がれて、富を造るの道を講ぜず、從て國民一般も此觀念薄く其弊は[illegible]となり、貯蓄心の如きは全く缺乏せり、富の生產にして停止すれば其國衰亡は勢ひ免る可らず、頃者工業傳習所の卒業式に於て、平賀博士は臨席の各大臣及重なる人に對して說て曰く『韓國が今日の如く貧乏なるは國民が全く不生產的の事にのみ着意して富の生產に努めざるの結果なり云々』と韓國現在の衰頽は全く國の生產に力を盡さゞる爲なり、一國も一家も富を造ると否とに依りて其の存亡は決せらるゝなり、帝國が韓國を保護して啓發指導をなすに於ても此方針に依らざる可らず

伊藤公が從來取られたる政策を顧るに、一意外形の整備にのみ重きを置きて富の生產に就ては頗る冷淡なるが如き感あり、由來伊藤公は外形の美を重ずるの政事家なり、故に公の關する所には必ず華麗なる政策は行はれ、統監政治に於ても遺憾なく公の特色たる形式的華麗政策は發揮せられたり、從て韓人政客等も公の意を受け滔々として形式的に流る、韓人も由來形式的を喜ぶ民にして日夜唯だ如何にして形式を裝はんと苦心しつゝある際に伊藤公が其形式の整備を獎勵するは恰も燃ゆる薪に油を注ぐが如し、彼等が滔々として形式的に流るゝも亦宜なりと謂ふべし、韓國現在の狀態は恰も死者に六道錢を携へしむる慣例に能く似たり、既に六道錢を携帶せしむることの形式的なる上に、更に形式の度を進めて紙を錢形に剪り之を死者に携帶せしむるに至る所あり、形式に流れ外形の善美にのみ意を用ゆるの結果は終に斯る滑稽なる狀態に陷入るものなり

韓國の現狀は唯形式のみ備はりて其實質たる富に於て殆ど窮乏の極に達せり、之を矯正して富を造る方法に就て誠意力を盡さゞるに於ては唯夫れ衰亡の外あらず、今に於て覺醒して富の生產に全力を傾注するに至らば必ずしも衰亡に陷るの虞あるに非らず、幸に伊藤統監が從來取りたる所の形式政策の非を認め、頓悟せられたり、韓人の疲弊甚だしきを認知せられたらんには將來は富の生產に極力努むるに至るべき乎、伊藤公の頓悟が遲かりしと雖も頓悟せざるに優るなり、韓國政府も國民も徒に形式的に流るゝことなく富の生產に極力盡瘁すべきことを勸告す

●出入船舶と上陸者　一昨日仁川に入港したる船舶は商船會社の參東丸、信濃川丸、三省、佐之江、總龍の諸船なり
の三隻[illegible]其の上陸者は男六十三名女十一名なり出港船は一もなく又目下の在港船

東京電報

▲志願兵と外國語　一年志願兵採用試驗科目中に英獨佛語の一科を課することゝなりたる結果各府縣の農學校は外國語を敎授せざる爲め徵兵猶豫の特典と一年志願兵の特典とを褫奪さる可し

▲韓太子の御苑行啓　韓皇太子は今日新宿御苑に行啓さる(以上廿五日發)

▲李鳳來の東京發　東京滯在中なりし李鳳來は今朝東京發名古屋下關を經て歸國す

▲高商職員辭職　商科大學は帝國大學に奪れたるに依り高等商業學校長以下職員總辭職をなす

▲安奉線と當局　安奉線問題に付き我當局者は世界の交通に關するものあるを以て條約の解釋は別問題とし急に運ばんとし佐藤少佐土地買收の爲め奉天に向へり

▲李容九の全治　李容九氏は過般來痔疾を患ひ佐藤順天堂病院に入院治療中なりしが廿五日全治退院せり(以上廿六日發)

外報一束

●土耳其の虐殺　米國宣敎局の計算によれば土耳其國アダナにおいて確に一萬人は虐殺せられ米國宣敎師中暴徒のため非常なる災禍を蒙るものあり其詳細なる事態は殆ど言ふに堪へざるものあり

●露淸間一問題　最も信憑すべき報に依れば淸國政府が東淸鐵道買收の件を露國公使に申込みしは去一月にして露國は之に對し先づ哈爾賓問題を落着せしめて後其相談に應ずべき旨を回答したりと哈爾賓問題は目下露本國に於て硏究中にして露國は之を露京に移さんことを望み露國公使コロストウキッチ氏は依然北京に於て其訓令を待ちつゝありといふ

●米國宣敎師殺害　土耳古アダナに於て二名の米國宣敎師火災鎭壓中射殺されたり米國巡洋艦ノースカロライナ、モンタナは西印度よりアレキサンドレッタに向ふ可き命を受けたり

●英國造艦の意思　英國總理大臣アスクイス氏は其のグラスゴーに於ける演說に於て今後數箇月間に獨逸が曩は宣明せる意思に反して造艦を急ぐてと發見せられんには當政府は直ちに番外ドレッドノート級戰鬪艦四隻の起工に着手す可しと告げたり

●瀑布氷塊八十尺　ナイヤガラ瀑布にれいて高サ八十尺の氷塊を生じ空前の大洪水起らんとす少くとも三個の町は之がために災害を受くるの虞ありダイナマイトにて氷塊を除去せんと試みたれども不成功に終れり其地方一帶の恐慌言はん方なく目下全力を盡して災害の豫防策を講じ居れりと

雜報

●東拓金融部　東洋拓殖會社金融部の貸附金は五十萬圓なりとの事を報導したるが右は誤りにて實際は驛屯土の拂込を控除したる正金拂込百七十五萬圓の五分の一乃ち三十五萬圓なりと云ふ因に東拓株金の全部は今以て內地の某銀行に預入しあるが故に目下の處當地の金融には何等の關係を有せずと云ふ

●皇室債務處分　皇室債務の處分は愈々昨廿六日の官報にて發表したるが之れを手始めとして今後續々發表する筈なるが凡ての處分は是にて一應結了したるものにて最早何等の案件なしと

●土地整理の着手期　韓政府が一千萬圓の經費を投じて土地整理を企畫せる事は既報の如くなるが右は荒井次官が東京に於て調査したる結果に依り來る七月頃より試驗的に先づ京畿道より着手する筈なりと云ふ

●東拓貸付方針　東拓會社の營業開始と共に不動產抵當にて貸付を受けんと欲し既に申込みたるもの數十名なる由なるが今同社貸付の方針なりと云ふを聞くに不動產抵當の分は事業部に於て評價し金融部に於て其の評價額の三分の二を標準として貸付くる筈なりといふ

●驛屯土引繼交涉　先に度支部及東拓會社の間に於て交涉中なりし驛屯土引繼の件は双方に協議纏り不日實地の引繼に着手すべしと云ふ

◎南滿興業金融機關　日本政府は南滿州租借地に於ける興業上の金融機關として日本興業銀行を指定し營業を開始せしむるに決したるを以て興銀は大連に支店を設置する由にて近日其筋の認可を受け次期の株主總會に提出する計畫なり

●大臣會議の休會　昨廿六日は統監邸に於て大臣及參與官會議の定日なるも秘苑花見の爲め休會せり

●東拓と農業監督　東洋拓殖會社にては將來事業の大發展を見るときはイザ知らず當分の所京城の本社以外韓國內地に支店出張所樣のものを設置せず事業開始の曉には農業監督の爲め格好の箇所二三に出張所樣のものを開設する可き方針なりと云ふ

●種苗無代配布高　農商工部にて此程無代配布をなせる種苗の數量を聞くに一月末日即ち配布を願ひ配布切日に於ける出願の數は頗る多く韓國各地の日韓人間實際配布せる高は出願の略三十分の一にて即ち苗木三十六萬本種子撰アカシャ兩種のみにて二十七石なりと云ふ

●財務監督局長會議　同會議は來月三日より向ふ一週間度支部にて開會の筈なるが會議事項は新稅の實施と驛屯土實地調查に就て打合せの爲なりと云ふ

●共進會出品準備　來年三月福岡及名古屋に於て開催せらるべき共進會に對し韓國政府よりの出品は韓國の模型地圖及統計表なる事は既報の如くなるが農商工部に於ては模型の材料を各地より蒐集中にて統計表は各部及干係諸官衙へ照會し目下頻りに準備中なりといふ

●平南鐵道と鎭南浦　先に廣梁灣鹽田視察として出張したる臨時財源調查局詰赤倉統監府書記官は二十五日歸任したるが其談に依れば鎭南浦は平南鐵道敷設の實測と鹽田工事の爲めに市況頗る活氣を帶びて中々殷盛なりと云ふ

●飜譯官補の採用　曩きに內部に於て執行せし飜譯官補の試驗は此の程終了せしが及第の上採用せられたる者は左の九名なりと云ふ

島谷秀三郞　木佐貫牛之助　淸水德旭
岩井遲作　小野登　朴正純
崔奎完　池相泰　表濱龍

●揚川郡饑饉と救濟　仁川署管內揚川郡方面饑饉狀況視察の爲め過日鹽川書記官及び仁川警察署有馬部長は富平、金浦、通津の三郡に出張し親しく饑饉狀況を視察したるが韓國政府にては住民困窮の程度に應し富平郡は十五面に三十五石金浦郡は八面に十六石通津郡は六面に十六石の籾を施すとの事なり

●秘苑觀覽の許可　昌德宮の秘苑は目下花盛りに付明日統監府並に所屬官省、憲兵隊、奏任官以上及各國領事館高等官に限り拜觀を許さるゝ由にて希望者は本日午前統監府に申込の上同觀覽券を受くべく婦人子供同伴は差支なしと

●漁業出願の件數　漁業法施行以來今日まで各觀察道各理事廳を經て農商工部水產局に提出したる件數は免許漁業百九十二件にして許可漁業二十六件の內十九件は既に處分濟なりといふ

●荒井次官の歸任期　日本に於ける土地整理の狀況調查其他の用務を帶び目下東上中なる荒井度支部次官は今月末歸任する由

●東拓監事來京期　東洋拓殖會社監事子爵松平直平氏及び同野田卯太郎氏は來月一日渡韓入京の豫定にて着京の上は總會の開催に關し宇佐川總裁其の他も諸般の打合をなす可しといふ

●土木學部主事任命　曩に報導したる內部所管の土木及學部增任の郡主事は愈々昨廿六日任命あり兩三日の內夫々赴任すべき筈にて昨日は大臣及次官の訓示演說に次で平渡書記官の執務心得談ありたるが其の人名は左の如し

▲學部任新主事

京城　山崎三郞　　忠北　關根義幹
忠南　朝岡淳义　　全北　口石敏義
慶南　梅野駿二　　慶北　樋口容
黃海　大塚浩　　全南　織田德次郞
咸北　山上峯次

▲土木新任郡主事

慶南　白木鐵太郞　　慶北　橋高威三
平南　深田九馬三　　忠北　富田虎猿郞
全北　小田收一郞　　全南　高橋五郞
黃海　大館三代太

●新任商工局長着期　新任農商工部商工局長は平壤理事官としての殘務を處理し來月十日頃京城に着任すべし

●東拓井上理事歸任　豫て上京中なりし東拓會社の井上理事は二十五日夜南大門着の汽車にて歸任したり

◎南浦水產物輸出高　朝鮮海水產組合調查鎭南浦の三月中の水產物輸出は左の如し

品目	仕向地	數量	價額
鹽魚	大阪港	一五斤	二圓
	神戶港	三七、二〇〇斤	五、四六八圓
	淸國便島港	五三〇斤	三七圓
	合計	三七、七四五斤	五、五二七圓
乾魚	大阪港	四五斤	四〇圓
	下關港	一六〇斤	二九圓
	合計	二〇五斤	六九圓
昆布	大阪港	九四二斤	一〇〇圓
食鹽	淸國便島港	三、五〇〇斤	六二圓
	淸國石島港	一、七〇三斤	二三圓
	合計	一四、二〇三斤	八五圓
總計		一五三、〇九五斤	五、七八三圓

●大邱の新稅徵收期　大邱財務監督局にては新稅徵收に對する準備調ふたるを以て愈々本月末より課稅する事となりたりと

●金融組合と團体　古來行はれたる契の制度を利用して近頃地方金融組合內に更に小規模の團体を組織せしむる計劃を立つる向往々有之右は組合的觀念の注入方法として至當の處置なるも地方金融組合が既に小規模のものある以上更に其の內部に右等の團体を組織するは策を得たるものにあらざるのみならず組合費以外更に出資の義務を負はしむる如きは現時の狀況に照らして穩當ならずと認め今後右樣の團体組織の計畫ありたる場合は左記各項に注意する旨度支部より訓令を發したる由

一此種の團は地方金融組合を以て組織せしむること
一團体の組織は單に地方金融組合の業務を團体員に取次ぐことに止むる事
一右の外團体員が地方金融組合より借入を爲したる場合は地方團体員をして連帶責任を負はしむること
一團体員の數は十五人より多からざること
一役員は假令之れを置く場合と雖一人位に止め且無報酬とすること
一出資又は經費の如き負擔の財務を團体員に負はしめざること
一豫め模範定欵を作製し所管財務監督局長を經由して本部の承認を得置き爾後團体設立の都度該模範定欵に依り定欵作製し所管財務監督局長より認可を得たる上設立すること
一財務監督局長は斯種團体の設立を認可したる場合には其の意を本部に報知すること

●東拓の調查依賴　大邱理事廳に對し東洋拓殖會社より此の程管下地方日韓人の商取引、韓人へ貸附金、農業其他に付き調查を囑托せる由なるが或は出張所設置の下準備にはあらずやといふ

●平南道路の工程　平南鐵路工事は昨年五月より鎭南浦より起工し同時に平壤に出張所を設け双方より起工着手したるが全線を二十區に分ち各區より工事を始め居れり目下は平壤對岸より南方約二哩餘は既に完成し尚各區とも漸次進捗しつゝあり既成の分は今日まで約三分の一餘なりと因みに同工事完成の曉は多分平壤を起點とし平元鐵路工事に着手せらるべしと云ふ

●浦鹽出稼者頻々　咸北道にては文川に於ける饑饉其の他の關係上本年は浦鹽出稼案外に多く殊に昨今は非常の出稼人にて去る二月は九人三月は四十一人四月は去る十五日までの半ヶ月間にて百十六人の多きに達し特に十五日には一日十三人の旅行免狀下付願ありたりと

●漁業出願七十五件　二十四日迄釜山理事廳を經由して出願したる漁業願書は七十五通に達したる由なるが今後尚は幾多の出願あるべしと云ふ

●仁唐間航行船歸航　仁川唐津間の命令航行船香稚丸は一昨日入港し即日歸航の途に就けり

●募集巡查の到着期　曩に熊本及廣島縣にて募集したる內地巡查五十名は鎌田警部引率して來月五日京城着の筈

●日大の校友會開會　去る廿四日午後五時より日本人俱樂部に於て日本大學校友會を開會せしが會するもの廿余名席定まるや岩本英夫氏幹事を代表して同會に關する諸般の報告をなし續て前支部長松井警務局長及新任支部長三宅評定官の挨拶あり次で酒間佐藤主計の演說あり酒宴後別室に於て三宅評定官の新刑法實施後に於ける刑の定評に付有益なる講演ありて和氣藹々の裡に散會せしは午後十時頃なりしといふ

●黑田氏の茶話會　既報の如く黑田氏夫妻は去廿四日老人星山莊に於て留別茶話會を開催せられたるが當日の參會者は官民及び在留外人貴婦人等數百名にして非常に盛會なりし由なり

●春季聯合運動會歌　來る二日午前七時三十分より訓練院に於いて擧行すべき漢城官私立學校春季聯合大運動會に於て數十校此生徒一万二千餘人の口々に唱へらる可き甲乙二種の唱歌は生徒をして不知不識の間に智識を涵養せしむるものなりと

●高等女學校敎諭　元千葉縣中學校長柴田熊太郎氏は當民團立高等女學校敎諭に聘せられ廿五日着任せり氏は高等師範學校出身にして理科を擔任する筈なりと

●松井局長の東上　內部警務局長松井茂氏は明二十八日午前八時五十分南大門發列車にて東上の由

●鶴岡書記官出張　鶴岡農商工部書記官は今朝南大門發列車にて新義州方面視察のため出發する筈なるが來月は平壤に於て開催すべき平安南道觀察品評會褒賞授與式に參列す可しと

●鳥居技師の出張　財源調查局技師同氏は廿六日出發東京大阪地方へ出張

●敍任辭令
任濟州郡守敍奏任官四等　道事務官　元大圭
補濟州警察署長　警視　原龍橋
給七級俸　農商工部技師　高瀨治太郞

公人私人

▲兼重次郞(平壤地方裁判所檢事長)　二十六日入京不知火旅館
▲藤本充安(島根縣事務官)　二十五日入京浦尾旅館
▲安部亘介(關稅局事務官)　神戶橫濱稅關狀況視察の爲め一兩日中に出張すべし

近事片々

▲地方の暴徒は今尙猖獗殊に忠淸全羅を多しとなす速に鎭滅の方法を講ずるが肝要
▲江原咸鏡の方面は近來稍々鎭定せり昔魁李範允の如きは露領ヤンチに閉息せりと
▲駐劄軍風紀の振肅せることは嘗て我社の論評したるが如く極て好成蹟と表明せり
▲六師團は殊に風紀の嚴肅を以て名あり師團長は極て風紀の振肅に力を注ぐが爲也
▲花柳病の如きは今や全く跡を絕たんとするに至れり是でこそ帝國の花なり實なり
▲風紀の振肅は獨り軍隊のみならず一般邦人の注意すべき事ぞかし猛省一番を要す
▲官吏の如きは邦人等の標目となり易し深く其行爲を愼まざれば其影響する所大也
▲寸暇だにあらば靑樓に上り醜業婦を侍らせて快とするが如き弊風を一洗すべき也
▲如何に殖民地は風紀紊しとは云へ苟も之を矯正すべき官吏が先立ちは甚だ不可
▲比較的品行方正ならざるものも官吏ならん比較的鐵槌の良きものも官吏なるが
▲斯く云へば上を見習ふ下の御辨解もあらん願はくは上級に向て鐵槌を下すべし
▲韓國地方の疲弊と共に不景氣は將さに絕頂に達せり不景氣挽回策を講するが急務
▲春は來たれど花咲かずとは韓國經濟界の現狀なり日本貿易商の如きは殆ど休業也
▲統監政治も此方面に向て發展せよ現今の如く不景氣では迚も何事もなす能はず
▲統監政治も輪廓の時代は既に過ぎ去つたり今後は着々實質的の效果を擧くべき也
▲現在の經濟狀態を救濟すべき方法を當局者は講じつゝあるか願はくは聞くを得ん
▲若し救濟法を講じつゝありとすれば如何なる方法を取らんとするか速に決行せよ
▲露國艦隊は土耳の事變に依りてダーダネルス海峽を通過せりと聞く果して然る乎
▲露國がダルダネルス海峽の通過に努むるや久し土耳の騷亂に乘じて意を逞せる乎
▲北淸州に淸兵の增加は近頃著しく淸國の增兵は何を意味する乎借も困つた事にて候
▲淸國の利權回復熱は今に覺醒め[illegible]は曾祿に何等か[illegible]を操り居る者あるは事實

…たる船舶は商船會社の錦東丸、信濃川丸の二隻にして其の…陸者は男六十三名女十一名なり出港船は一もなく又目下の在港船は撫式、安東、信濃川、櫻井、龍湖、錦江、天草

●韓太子と古老連

▲太子は幸福な方である

韓國觀光團中の元老閔泳韶氏以下七名は帝國新聞社長鄭雲復氏の案內にて去る二十三日朝靈南坂の伊藤統監邸を訪ひしに統監は第一應接室に引き統監の制服に勳章燦然、打解けし裏に威儀を正して面會せり閔氏は先づ本國出發に當り韓皇より特に統監に贈らるべく命せられし韓皇親耕式の寫眞數葉を呈するや統監は之を拜受し夫より韓太子の談に移る元老連の最も聞かんとする此の一事なりしが統監は落附き拂つて

皇太子は誠に幸福ぢや日本の兩陛下は御子の樣に慈しまれる東宮殿下は御弟として愛され何でも彼でも御意の儘になるダカラ恐ろしい御發達ぢや韓廷にゐる時よりは肉の御組織まで變つて來て全く御生れ變らせられた樣ぢや學業なども倦怠なく〳〵に御深く至つて御利發の質で居らせられるから精神肉体二つながら驚くべき御發達異に韓廷の礎ぢや

と聽きたる元老大官連は膝乘出し首を長くして喜色滿面に溢れたり然しながら其御幸福が統監の言の如くなるや否や韓人一同の疑惑は尙其間に挾まれたり會話一時間半斯くて鳥居坂の韓太子御用邸に向ひしに侍臣は一行を迎へて御座所に導く邸の內外善美を盡せり洋風に日本風を和せるいと心地よき構なれば一行は先づ太子の御幸多き御生活を合點せり次で拜謁の段となるや太子は例の御快濶にその豐頰に溢るゝ笑を湛へさせられ

能く參つて兩陛下にも御壯健にか、自分はもう本國よりは日本の方が餘程よい每日面白いこと樂しいことが山々ある日本は何も意のまゝに話せる日本は善い國ぢやよ

の他愛なき御言葉に排日の底意尙去らぬ元老連も釋然として口々に成程皇太子は御幸福である之では昔の如く日本の朝廷日本の人民は誠心誠意韓人を迎へるのに違ひあるまいと嬉々として退出したりと

●御裁決を仰ぐ

▲專制主義と共和主義
▲東拓社內のホコトン

東洋拓殖會社は人も知る如く軍人を總裁に頂き副總裁は前內部次官理事は何れも前知事閣下であるだけ萬事が役所風で中々紀律も嚴正に且つ**形式**が非常に八釜敷い例へば課長が理事や副總裁に書面を出す時の如き「御裁決を仰ぐ」と朱書して出すコンナ馬鹿氣た事を書く所は何處にもない統監府の屬僚が統監に出すにもコンナ文字は使はない、斯の如き八釜敷き形式を踏むにも係はらずズット下の方になるとこれは又太した紊れ方で課長が事務員に命じて起案の草稿を作らす、事務員先生承つて之を認め課長に示す、課長若し氣に入らずして訂正を命ずると事務員先生頑として應せない烟草を吹かして知らぬ顏をして濟まし込む其口の利方が又甚だし課長「君此處を直して呉れ玉へ」事務員「僕には其以上は出來ないよ惡くば勝手に直し玉へ」と云ふ樣な鹽梅で實に**極端なる共和主義**である、而して前者の課長對理事は是れ又**極端なる專制主義**である一社會內に斯かる極端なる二派が蟠かまつて居ては自から事務の**澁滯**は免れない會社は會社普通の遣り方に改むる必要ありだ

●合せ鏡（三）

（伊豫之守殿の花較を見て）　魚遊痴史

▲君江とれ多福
岸の柳楊の素直なところ
濁らぬ君江に映つる影
倹しいた多福笑顏の度に
金の入齒がぴか〳〵と

▲れ民とれ玉
望み叶ただみで有ながら
倘も島巢に憧がるゝ
明聲仲さへまアるいれ玉
研磨く技藝が身の光明

●新町の大當り

一昨日は日曜に相當し且つ近來に無き好天氣なりし爲めか野遊會杯其處此處に開かれたる樣子なりしが其飛沫りは新町に影響し一月以來初めての大當りにて登樓人員實に二百七名此費消高一千百二十七圓二十七錢此內皆春樓の三十六人と百七十七圓三十六錢が最高なりし月末で小宮吏の懷に餘裕が出來しも原因ならんが何にしても商賣繁昌で結構と云ふべし

●獄中の傳染病

仁川港に碇泊せる團平船萬吉丸の船夫にして脅喝して金品を强請せんとし雙に其の筋の手に逮捕せられたる美濃德松の乾分增田丈太郎（二六）は此程禁錮二月に處せられ仁川監獄に收容せられ居たるが昨日獄中にて猩紅熱に罹りて獄死

●船夫の亂暴

仁川濱町一丁目高杉昇方船夫三木前吉（廿七）は昨日午前三時頃新洞道明永方にて飮食し酩酊の上亂暴を働きたるより警察に引致せられ說諭を加へらる

●仁川の天然痘

仁川仲町三丁目德丸理髮店方西脇善平四男三平（當歲）新町三丁目白石幸七、花房町一丁目根岸運送店明北森薇は天然痘に罹り昨日仁川避病院に收容せらる

●貧故の縊死

仁川平洞居住姜宣官（四十）といふ者は一昨日午後自宅の梁に細引を掛け無慘の縊死を遂げたるが原因は貧困の爲め精神に異狀を來したるものなるべしと云ふ

●生馬を拾ふ

仁川山根町上入友吉郞と云ふのは昨日京町四丁目牛角洞に通ずる道路にて馬一頭を拾得し屆出づ

●ヨボ亂暴を働く

平壤生れ當時京城北署諸洞三十一統五戶李天有（六十）と云へるは一昨夕午後八時三十分頃へベレケとなりて長谷川町二丁目飮食店森下仙吉方へ來り婦女子に暴言を吐き暴行をも爲し兼ねまじき有樣に主人の森下は警官の處へ連行きしに彼は警察官に向つても尙ほ亂暴を爲さんとするにぞ遂に南部署に引致され覺醒の後ちれ目玉を頂戴して引退る

●大邱藝妓の遁亡

京釜線大邱の遠城館に抱へし君照事松井まきは去る廿四日ドロンと消へ亡せたるが落附く先きは京城ならめと抱主は電報にて取押へ方を南部署に願ひ越したるが今以てなんの手掛りもなしとは氣の毒

●賣淫婦五名引致

仁川警察署にては昨日市中に散在せる飮食店及び料理店の搜查をなしたるが計らずも賣淫中の酌婦五名を發見して警察に引致したりと

●本社のお花見

此の前の日曜に催さるべかりし吾社の花見會は無情な雨に流さるゝこと一周日、一昨日の日曜正午より西部阿峴の松林中に於て擧行せられた、社長の指名に依つて柳江子と中村氏と私との三名が會場係りと云ふことであつたが何が扨て麥酒や日本酒やらの顏を見せられては會場係りだから杯と萬事從へ目にして居られる連中でないから荷が運ばれると直に誰れやら咽喉が渴いたと云ふ同感と行り返す此所が役得だと引き回した幕の蔭で二三本チョロリ自分では知られん心算で異面目腐つてると社長がオイ君髯の泡を拭いたら猶知れんよ、嗚呼此の髯なかりせばと長嘆しても既に遲しである、兎角して席定まるや社長の代理として私が挨拶をやると直に當日の餘興たる永樂亭の源氏節一行の演奏がある、曲は桂川である、比翼塚である、彌次喜太である、日東大帝國の大御代を祝く如、爽々の音を立てゝ居る綠滴る老松の蔭に坐して美妙の聲樂を聽きつゝビーアの滴を引く誰れか佳肴の無きを云ふものぞ、絃聲は松林中に縹渺うて居る。柳江君は酈子に連れて唄ひ出す、私は怒鳴り出すトテモ三味には合らぬ、いゝ、いゝ、いゝ、かゝるところへ此れは又、夢ではないか、此にかゝる歡樂の頂上に達して居る所に、にしきの紅裙連は女將引卒の下に逆襲して是非酌と來た、少しく氣取らざるを得ぬ、が氣取るには我れ等は餘りに食ひ拔である吉平君の金線眼鏡一行中の大偉觀たりサア飮め歌への大騷ぎも醉つて件の如き我輩は此れから後のことを知らぬ。天氣が晴朗であつたことや、春風が駘蕩で白雲か三岳山頂に搖曳したことや、桃李の爛漫たりしことは乾度皆さん御承知のことゝ思ひます。何んでも全部引上げた頃は統監府の窓に燈火がチラ〳〵　（むら）

演藝界

▲永樂亭　岡本美根松一座の說敎源氏節年少の美根由が天才の藝と美根松の老熟なる唄ひ振りとが呼物にて每夜の大入

▲歌舞伎座　田宮、松村等の一行は是又中々の好人氣にて客足多しと

▲龍山座　京仁兩地で非常なる好人氣を博せし竹本一昇一座の義太夫で昨日より蓋明けせしが人氣頗る宜しと

◀平民文庫▶

▲便所の內で鼻をかむ人及び便所から出て右の手で柄杓を持つて左の手を洗ふ人とは共に常識のない人だ相だ（注告され生）▲人の好みと云ふものは境遇に依つて變はるものだ何んさなく淋しさを感じる月の光や虫の音の憐れなる秋か好きだつた僕は或る事あつて以來此の秋は嫌いになつた今では麗らかな太陽の光りと夏の曉と而して十一二の無邪氣な小兒とを好む（失敗者）▲ヘボ役者がまだ舞臺慣れもしない僻に妙ちきりんな聲を出したら嫌味たつぷりの思入れをするのを見ると實に癪に障るよ（芝居狂）▲正副兩統監不在にしてヨボ大臣此所許暫時命のせんたくさ此座い評判ちや評判ちや（香具師の卵）▲ヨボ連は決して其樣に正副兩統監に重きを置いて居ませんよ居ても居なくても同じことさ（小僧）▲平民文庫欄で記者さんが最も面白いと思つたのへ○△●▲◎と云ふ風に階級を付けたら投書家も今一層負けぬ氣になつて勵むだらうと思ひます（投書家の一人）▲友に向つて自分の所感を陳べる時一から十迄誠心して聽いて與れる者と、又或る個所へ必ず批をうつ者とがある一時は腹か立つ樣なものゝ始終は後者の方を懷かしく思ふ（エムオー生）▲源氏節の美根由と云ふ子は三味線は敢て批評する限りでない（ミキ子）▲然り浪花節を聽いて喜んで居る位の人間が源氏節は劣等だとか何んとか云ふのは鼠の小便をより以上に臭がるのと同じだ筑前琵琶よりは源氏節の方が面白いよ（給仕）▲廿五日の夜永樂亭へ行つて火鉢を一つに蒲團二枚取つたら十六錢取られたが大方考へ違ひだらう併しこんな考へ違ひは度々されては堪らない（わたくし）▲南大門の朝市の商人は實に不埒の奴が多い買物慣れない者が行くと取れる丈け取る現に僕は取られたのである（買物男）▲此の頃朝市に大きな海老の牛乾しの奴を買りて居ますか甘味いかしら（獨身者）▲一つか二つ買つて食つて試たら善しからう不廉いものではあるまいし其樣に考へる程のことは無いぢやないか獨身者の內は暢氣で良いなアつくづく羨ましいこつたナア（小僧）

●韓語獨習

日語	韓語
電報を、かけねば、ならぬ	チヨンボル、ノワヤ、ハケツソ
賴信紙、一枚下さい	ノイシンチ、ハンチャンクチユーシヨ
私に、來る電報がありませんか	ナウイケイ、オヌン、チヨンボガ、イツソ、
今日は、電報で問合せましたか	オヌールン、チヨンボロムロツソ
電報は、一字十字づゝです	チヨンボヌン、ハンチヤエハンドンシキヨ
電報が、來たと云ひます	チヨンボガ、ワツタブツイタ

●天氣豫報（自廿六日午後六時至廿七日午後六時）

南東風曇少雨

廿五日　最高温度　七三、九　最低温度　四一、五　（華氏）

秘密病根治の妙法

（最も安全にて信賴すべき自宅療治）

世人は梅毒淋病の害毒に恐を懷き其原の傳染を受るものにて學者の調根に依れば現に醫の監督下に在る娼婦が若し檢梅を怠る時は一人にて一週間に百人以上の人に傳染せしむる事容易なりと云ふ然に娼婦は國法に依り檢梅を受る故割合に危險少く却て實際檢梅を受ざる人孫に嫖客に有毒者多數なるは專門醫の歎する處現今世上に流行の甚しき事が之で判る又人種の差に因り異人種より受る梅毒は劇症を起すと癩病は亡國病と云ふ程の難病でない初期の間に完全の治療すれば必ず根治する事は治療學上の證明する所で其本人が油斷して適當の手當を怠り或は不完全の藥劑に信賴する結果漸次深身に陷いるものなれば實際淋病の罪でなく本人の罪が多い淋病の病狀は左程の痛みなしで膿出で又は苦痛甚しく膿を漏し屢々洗滌する爲め衣服を汚染し或は出血の爲に尿が血色に染り尿意頻促となり其煩に堪ずとに於て煩悶、恐怖、憂鬱等の念交々禁じ難く鬼の目にも戾の出る此場合に淋病の治療藥を用て一旦治するも程なく毛髮脫落し咽喉痛み聲音斷啞し心持常に鬱憂し顏色惡く働かずとも身体倦怠し手足力なく讀み書き又は作業手に附ず頭痛あり腦病の如く記憶力減じ或は眼かすみて充分見えぬ事ある等の病狀が顯はれて來るは梅毒の爲めであるが癩病の後に多く隨伴する所以は梅毒淋病の混合傳染である故に淋病の專門藥は其場限りの効能で跡の大害に何の手當にも成らぬ凡そ人の活體は書籍の通りや道理一偏で行くものでない故に不完全の藥劑にて療治の目的を誤る理由は茲に在る事が判る左れば梅毒淋病に臨床醫學の見地より深く實地に鑑み親切に考量したる藥劑でなくては斷じて眞正に根治する事が不可能である凡そ梅毒淋病を根本的に療治するには必ず唯一丸を用ゆべし唯一丸は彼梅毒の病源體を發見して有名なる獨逸の大家ホフマン博士の處方に則り其の主藥（原料）は現世に於ける唯一の驅毒藥として醫學者に最とも貴重せらるゝ藥劑なれば梅毒には身体內に蓄積する病毒の作用を中和し不純の成分を血液及組織內より驅除するの特効あり淋病に內服せば化學的作用にて必ず淋毒の死滅すべき精分となりて小便と共に排泄するもの故自然の洗滌法となりて淋毒を根治する事明かなり依て其病症の輕きは一二週間より重くも一ヶ月程にて拭ふが如く根治す故に多毒質の人は速に唯一丸を試よ面白き程効力あるべし

藥價●三日分四十錢七日分八十錢●十四日分一圓五十錢●三十日分三圓（內國遞送無料）

●本病患者の爲の其病理養生及び治療法を親切に詳述したる冊子無代施本送料三錢

發行所　東京市本鄕湯島天神表門中坂上　藥劑師　中西莊吉
電話下谷五百四十七番　振替貯金口座千五百番

代理店
京城南大門通三丁目　新井藥房本店　電話九〇四番
同本町三丁目　新井藥房第一分店　電話一〇六八番
同南大門外　新井藥房第二分店　電話西七八番

無煙炭

用途 鍛錬、暖爐、竈用に適す

周防徳山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯 希望 當初給料望まず 氏名在社(二二一)

一年齡二十歲身体强壯高等小學校卒業家內の少き內に於て餘暇裁縫敎授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まつだ(二二三)

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵現役終了給料不望個人商店を望む身元確實 姓名在社(二二二)

買價事業を求む年廿三身体頗强壯軍隊出射擊術に通ず報酬を不望(衣食に差支へなき限り) 氏名在社(二二四)

年廿才玉突ボーイに雇はれたし持點數百二十以上龍山大島町新玉軒にて津田(二二七)

看護婦 募集す 志望の方は至急申込まれ 明治町惠愛看護婦會

看護婦 三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社(二二八)

多少法律事務に心得ある事務員一人雇ひ入れたし希望者は午前九時前御越の事 明治町二の七五岩田辨護士(二二三)

下女入用 年齡不問 給金働き次第 氏名在社(二二三)

弓削竹二郎君に告ぐ長谷川町吉田屋洋服店へ履歷書提出あれ (係)

雇はれたし 家族少なき家を望む十九女 (氏名在社)

十六七の 職弟子入用 但し當地に確實なる保證人有者 明治町一丁目 衛生床(二二五)

藥局生に雇はれたし內地にて多年經驗あり醫院若くは病院を望む身元確實保證人有り 氏名在社(二三四)

物件部

賣家 大和町三丁目坪百餘坪の建物あり官衙向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社內 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附(又は賄附にても)にて二間貸したし 氏名在社(二三五)

雉子雄日本產尾中斷し從來使用中の者盜難にかゝれり心當り御報の者へは謝禮 龍山線運官舍八十八號 前丸山(二三一)

廣告

京城南山町二丁目
東京流 席貸 待合 電話一〇二五番
お茶屋 すず花

●賣家

一、龍山旭通り
一、建坪二階及平屋
間數十四造作付
取まぜ二十三坪
右賣却す望の方は御相談に應ず 但炊事場共一切揃あり 御來談被下度候
龍山丸万旅館

電話開通 九百十九番

キッド深ゴム 八圓
一枚皮深ゴム 七圓五十錢
ボークス深ゴム
一枚皮裁一枚皮 五圓五十錢
牛ボークス深ゴム

地方よりの注文は御一報次第代金引替にて郵送致し若し御足に合ざる節は何時にても御取替申すべく候

京城本町一丁目 富田製靴本店 電話九百十九番
同 本町六丁目 同第一支店
同 南大門外 同第二支店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

サッポロビール
エビスビール
アサヒビール

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番
東京火災運送海上保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九

諸官衙御用品調達

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣
東京 ランバーグ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

本社 京城明治町二丁目 電話一二三〇番
出張所 京城南大門通一丁目十一番地 電話新橋三九六二

石炭直輸入卸小賣

●●精撰塊炭 上等塊炭(海軍御用炭)
●●荒塊炭 切込炭(鐵道御用炭)

弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口福母炭坑賣炭部
韓國京城南大門西側(電話長八二九番)
合資會社長醫商會韓國出張所
仁川濱町一丁目(電話長八三三番)
合資會社長醫商會仁川出張所

合名會社範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店

純良 牛乳

京城大和町一丁目
牛乳元祖 平山牧場
電話百三十三番

新荷着廣告

歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、

G.D.印トルコ金口煙草(百本入 十本入)

外各種 百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元
仁川本町一丁目
トルコ煙草商會
電話(七一五番)

各宮御用
新疊及調進 廿年來
各宮様の疊 井上平次郎

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保運送 附保品代金付貨物運送

內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話六一六番 電話三七番
龍山驛構內 龍山派出所 電話二〇六番

大 ⛫ 萬

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

和洋酒、精米所、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物 食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
御望に依り商品切手調進仕候

京城本町五丁目
大上商店 (電話二五一番)

一手販賣 京城太平町二丁目
神田組

龍山 萬長旅館
東山の十柳町
電話四〇〇番

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番
中村運送店

○建築業 中川卯之助
龍山元町四丁目 電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

電話開通一一一一番

青々園
味、香、色の三者を兼備す
宇治正銘茶、京都の茶器
進物用に尤も適當なり
茶及茶器商 京城本町四丁目 青々園茶舗

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々數御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路 (元花屋跡)
かめ屋

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
伊藤組
營業所 京城蠶町(電話七三番)
本店 同本町三丁目(電話四〇番)

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話十番
瀛船 貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

釜山長崎門司神戶行
山東丸 五月九日午後三時出帆
大連、大沽、牛莊行
山東丸 四月二十七日前五時出帆
大連、大沽、牛莊行
酒田丸 五月十三日正午出帆
釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 四月二十八日
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月金四十錢▲三ヶ月金壹圓▲六ヶ月金貳圓▲壹年分金四圓
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金十錢▲四號活字十九字詰一行金十錢

發行兼編輯人 秋山志三郞
印刷人 高木久馬太

發行所 京城西署西小門通 京城新報社